



熊石地域 八雲神社創立410年の祭典が執り行われました

9月6日・7日の二日間、熊石雲石地区の「奇岩雲石」に祀られる八雲神社が創立410年を迎え、同神社祭典委員会主催の祭典が執り行われました。

6日の宵宮祭では、神社境内で御祈禱が行われ、松前神楽（獅子舞）が奉納されました。夕方には雲石地区の山車「八雲山」が町内を巡行し、にぎやかな祭りの初日になりました。

祭典には、故郷を大切に思う熊石出身の方々も来訪し、笛や太鼓のお囃子を耳に、山車を見て幼少期を懐かしんでおりました。

7日の本祭でも再び御祈禱や獅子舞奉納が行われ、当日予定されていた海上渡御は、あいにくの荒天により8日に延期されましたが、滞りなく神事を終えました。



落部連合町内会主催 「地震・津波避難訓練」が実施されました

9月3日、落部連合町内会主催で、津波からの避難を想定した防災訓練が行われました。

参加した町民17名は避難開始時刻に合わせ、あらかじめ定められた避難場所（落部公園）まで歩いて避難し、概ね想定より早く避難が完了しました。

その後は、落部町民センターに場所を移して、八雲町が備蓄している非常食を試食し、災害用トイレや段ボールベットを組み立てて使い方を確認するなど避難生活の一端を体験しました。

参加した町民からは「実際に八雲町が用意している備蓄品を学ぶことができた。非常時の持出品を確認することや避難場所なども家族で話しておきたい」といった声が上がっておりました。

